

Interview Recruit

Interview

Part-1

Towards

100

years

100年つづくケーブルメーカーへ

四国電線は創業77年を迎えました。

100年企業に向けてみなさんと一緒に歩む先輩たちの「声」を紹介します。



Voice #01



技術部
藤井 直也

Fujii Naoya

この会社を選んだ理由は？

電線は電柱から電柱に張られているイメージだけでしたが、大学の研究室が電線メーカーと共同研究をおこなっていたことで、身の回りの様々な場所で使用されるインフラ整備に重要なものだと気づき、関心を持つようになりました。会社説明会で、自動車用のGPSやETCに使用されているケーブルの国内シェアが大きいこと、また世界中の名だたるカーメーカーからも採用されていると知り、将来性を感じてこの会社を選びました。

こんな仕事をしています

コネクタ接続などを施した加工品を担当しており、部材選定・仕様決定及び成形品の設計もおこなっています。営業と共にお客様に直接要求事項を確認・提案したり、工場で量産化をサポートなども担当しています。新規案件の立ち上げの際は海外工場へ出張し、現地立ち合いにて製品実現までのサポートをおこなうこともあります。また、工場で使用使用する治具製作も担当しており、作業者の要望をヒアリングし、生産効率を向上させる改善も積極的に行っています。



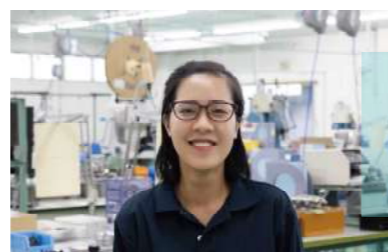
四国電線で働く魅力は？

四国電線の魅力は、技術者が情報収集から量産立ち上げまで各プロセスに関わることができる点です。この一体化体制によって、分業化では見えない小さな疑問や新しい発見があり、自分の視野を広げることができます。また社員の向上心や教育・訓練には惜しみなく投資をしてもらえます。定期的な教育・OJTに加え、社外研修にも積極的に参加することができます。設備投資についても柔軟で、社員の成長と技術の向上を支援してくれるのが魅力です。

今後の目標は？

コネクタ成形品の設計は、様々な要素が絡み合い、単に机上で設計するだけでは不具合が発生してしまうことがあります。製品の強度や耐久性の確認など、多くの技術的な要素を熟知し、経験を積み重ねることで、スペシャリストとして成長するのが目標です。また、当社主力製品である自動車関係の案件にも積極的に取り組み知識を深めたいと考えています。

Voice #02



加工品製造部 製造課
グエン ティー ツー ハン

Nguyen Thi Thu Hang

この会社を選んだ理由は？

ベトナムの大学を卒業後、日本に留学していた友人の影響もあり、経営学を学びに留学してきました。就職先を決める際、ベトナム工場があることや、会社説明時に感じた暖かい雰囲気、そしてベトナムからの実習生を受け入れる計画があったことが四国電線を選んだ理由です。海外に工場を展開していることもあり、国際的な視野を持ち、社員の成長を大切にする企業風土で入社して良かったと思います。

こんな仕事をしています

異動になってまだ日が浅く、自社製品の知識を深めるために、試作品の製造に携わっています。それと並行して生産効率を考え円滑に製造ができるように設備の準備・設定のサポートもおこなっています。現在の部署に配属される前は、電線の製造に関わる部署や、資材の発注・輸出入を管理する業務部に在籍していました。様々な経験を与えてもらい、自分自身キャリアアップに繋がっていると実感しています。また、ベトナム実習生の通訳のサポートでは、専門的な説明が必要のため、設備や製品について常に探究心をもって勉強しています。

やりがいを感じることはありますか？

工場トラブルが起きたとき、自分の力で解決し、作業員から感謝されたときにはやりがいと自身の経験が深まっていると実感します。また、知らない国にきている実習生は不安を抱えていることが多いので、仕事だけでなく、生活面でもサポートしています。実習生が日本の生活になれ、仕事に集中してイキイキと働いている姿を見ると力になれていると感じ嬉しくなります。



今後の目標は？

私は、ベトナム工場と日本本社の架け橋となる存在になりたいです。そのためには、会社の事業を理解し、製造面だけでなく、技術・品質面の理解も必要となります。製品を知ることは会社を知る一歩なので、ものづくりを学び、そこから経営へと繋いでいくのが私の目標です。また日本のマネジメントを取り入れ、ベトナム工場でも展開していくために、自己啓発にも努めていきたいと思っています。

Voice #03



生産技術部
細川 和幸

Hosokawa Kazuyuki

こんな仕事をしています

数年前にベトナム工場の立ち上げプロジェクトメンバーとしてゼロからの生産体制を確立した経験を活かし、今後導入が検討されている設備の仕様検討や、導入後に使用される原材料の先行調査に関わっています。現在、当社グループで初めて導入を進めている設備があり、設備の仕組みを調べ製造時の原理を把握したうえで、加工可能な原材料の選定や最適な生産体制に向けた条件の先行検討を担当しています。

やりがいを感じることはありますか？

海外工場での新製品立ち上げ時の製造条件の選定やトラブルが起きた際に現地で対応が出来る製造技術スタッフの育成を任されています。言語や考え方が異なる海外で専門用語や生産知識を伝えることは非常に難しいので、コミュニケーションを図りながら写真や図を多用するよう心がけており、海外工場スタッフ内で問題解決や方針決定が成せた時にはとてもやりがいを感じます。



四国電線で働く魅力は？

私が配属されている生産技術部は、ありとあらゆる設備知識や製造知識を備えている上司と、電気・制御及び機械部品加工や作成などの専門分野のスペシャリストの仲間が揃っています。プロセスを考えていくうえで、その仲間達のマニュアルには無い知識や経験を共有できる部門であり、自身の強みである製造技術力をさらに発展させていける環境が整っていることが大きな魅力です。加えて、会社方針にかかわるプロジェクトに携わることもありますが、単に決められた仕事をこなすだけではなく、社員が自発的に取り組むことを尊重してくれる社風であり、それが会社の業績向上にもつながっていると思います。このような環境で働くことで、自己実現を追求することができ、モチベーションを高く保つことが出来ています。

後輩へのメッセージ

人生には様々な岐路がありますが、選択肢があるということは、自由に決断できるチャンスがあるということです。自分自身の将来を考える上で、迷うこともあるかもしれませんが、四国電線に魅力を感じてその選択肢の一つであるなら、ぜひ一緒に働いて、成長していきましょう。